第1学年　算数　評価規準表

観点 単元等		知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
4 月	ぼくじょう たんけん	2つの数量の大小について，1対1対応の考え方を用いて比べることができる。 集合作りのしかたや，数量の大小の比べ方を理解している。	集合の観点を明らかにし，2つの集合の数量の大小を比べるのに，1対1対応の考えを用いている。	絵の中や生活の中に存在する数量に関心をもとうとしている。
5 月	１０までの かず いくつと いくつ	10までの数の意味と数え方を理解している。 10までの数について，正しく読んだり書いたりすることができる。 10までの数を分解・合成することができる。 10までの数の分解・合成のしかたを理解している。	ものとものとの対応，ものとブロックの対応，ブロックと数字との対応などの操作によって，10までの数の大小や順序を考えている。 数の分解・合成を，順序立てて考えている。	具体的な場面で，ものの個数を数えたり，表したりしようとしている。 数の分解・合成に関心をもち，いくつといくつという見方で数を表そうとしている。
6 月	あわせて いくつ　ふえると いくつ のこりは いくつ　ちがいは いくつ	和が10以下の加法の計算ができる。また，加法の場面を式に表したり，式を読み取ったりすることができる。 加法の適用場面として合併や増加の場面があることを理解し，加法の記号と等号を用いた式の意味を理解している。 10以下の数について，減法の計算ができる。また，減法の場面を式に表したり，式を読み取ったりすることができる。 減法の適用場面として求残や求差の場面があることを理解し，減法の記号と等号を用いた式の意味を理解している。	合併や増加の場面を加法の適用場面として判断している。また，加法の式を具体的な場面に結びつけてとらえている。 文や絵から，減法の場面かどうかを判断している。また，減法の式を具体的な場面に結びつけてとらえている。	生活の中から加法の場面を想起して，加法の式で表すことや，加法となる問題作りに意欲的に取り組もうとしている。 生活の中から減法の場面を想起して，減法の式で表すことや，減法となる問題作りに意欲的に取り組もうとしている。
7	なんばんめかな	個数や順番を正しく数えたり表したりできる。 順序数と集合数の違いを理解している。	順序や位置を表すためには基準を決めることが必要であることに気づき，表す数は特定の1つだけを指していることを見出している。	身近なものの順序や位置を表そうとしている。

月	いくつ あるかな	ものの個数を絵や図などを用いて，表したり読み取ったりすることができる。 ものの個数を絵や図などを用いて，表したり読み取ったりするよさを理解している。	ものの個数を数えるときに，絵や図などを用いて表す方法を考えている。	身の回りにあるものの個数を，整理して数えようとしている。
9 月	１０より おおきい かずを かぞえよう なんじ　なんじはん	10より大きく20までのものの数を数えたり，数字を用いて表したりすることができる。 「一の位」，「十の位」の用語と意味を理解し，2位数の構成を理解している。 時計を操作しながら，時刻（何時，何時半）を読んだり，時刻を時計で表したりすることができる。 時計の数字の目盛りや長針と短針の位置関係をもとに，時計模型を操作することによって，時刻（何時，何時半）の読み方を理解している。	10のまとまりを作って数えることを通して，十を単位とした数の仕組みとその表現のよさを見出している。 時刻（何時，何時半）を読む際，時計の長針と短針の位置関係に着目して考えている。	身近な事象の中に存在する数を見出し，数を数えたり，数字で表したりしようとしている。 自分の日常生活と時刻を関連させてとらえようとしている。
10	かたち（１）	身の回りにあるものの形から，基本的な平面図形を取り出したり，その基本図形を組み合わせたりすることができる。	立体の形や面の特徴に着目して，図形の分類を考えている。	身の回りにあるものの形が，基本図形の組み合わせでできているととらえ，いろいろな形を用いて活動したり構成したり

月	たしたり ひいたり してみよう	基本的な立体図形や平面図形の形の特徴や機能的な特徴を理解している。 3口の数の加減計算の場面を，具体物や図などをもとにして，立式して答えを求めることができる。 3口の数の加減計算の場面を，具体物や図などを用いて理解し，計算の意味やそのしかたを理解している。	3口の数の加減計算の場面を，図や具体物などを用いたり，2つの数の加減法をもとに考えたりして，演算決定をしている。	しようとしている。 3口の数の加減計算の場面を，図や具体物などを用いたり，2つの数の加減法をもとに考えたりして，演算決定をしている。
11 月	たしざん ひきざん	10のまとまりに着目することで，繰り上がりのある計算のしかたを理解し，正しく計算ができる。 10のまとまりに着目することで，繰り下がりのある減法の計算のしかたを理解し，正しく計算ができる。	繰り上がりのある加法の計算のしかたを，具体物や言葉，式，図を用いて表現し，考えている。 繰り下がりのある減法の計算のしかたを，具体物や言葉，式，図を用いて表現し，考えている。	1位数と1位数の加法で繰り上がりのある計算に進んで取り組み，その計算のしかたを考えようとしている。 (十何)－(1位数)の減法で，繰り下がりのある計算に進んで取り組み，その計算のしかたを考えようとしている。
12 月	くらべてみよう	身近にあるものの長さ，かさ，広さの直接比較や間接比較，任意単位を使った比較のしかたを理解し，比べることができる。 量の大きさについての豊かな感覚をもつことができる。	身近にあるものの長さ，かさ，広さを比べるときに,直接・間接比較や任意単位を使った比較のしかたを考えている。	身近にあるものの長さ，かさ，広さに関心をもち，いろいろな方法で比べようとしている。
1 月	２０より 大きい かずを かぞえよう	100までの数の読み方，書き方，数の大小，順序，系列を理解している。 数の大きさや構成についての豊かな感覚をもつことができる。 100までの数を正しく数え，読んだり書いたりすることができる。	100までの数表を見て，いろいろな数のきまりを見つけ，数の仕組みとその表現のよさに気づいている。	数を数える活動を通して，数の数え方や表し方に関心をもち，工夫して数えたり，数を表したりしようとしている。

2 月	なんじなんぷん たすのかな　ひくのかな　ずにかいて かんがえよう	時計の数字の目盛りや長針や短針の位置関係をもとに，模型を操作することによって，時刻（何時何分）の読み方を理解している。 また，時計を見て，時刻（何時何分）を正確に読んだり，時刻を模型で表したりすることができる。 加法，減法の用いられる場面を具体物や図などを用いて理解し，順序数，集合数に関連した加減法の計算の意味やその方法を理解している。 また，具体物や図などをもとにして，立式して答えを求めることができる。	時刻（何時何分）を読むときに，時計の長針や短針の位置関係に着目して考えている。 加法，減法が用いられる場面を，図や具体物などを用いて考え，演算決定をしている。	自分の日常生活と時刻を関連させてとらえようとしている。 問題場面を図や具体物などを用いて表すなどして，どの演算を用いればよいかを判断しようとしている。
3 月	かずしらべ かたち（２） １年の まとめを しよう	ものの個数を式や絵グラフなどを用いて，表したり読み取ったりするよさを理解している。 ものの個数を式や絵グラフなどを用いて，表したり読み取ったりすることができる。 平面図形を構成しながら，基本的な平面図形の性質を理解している。 また，形の観察，構成，分解の活動を通して，図形についての基礎となる経験を豊かにすることができる。 2位数の構成や順序，計算のしかた，任意単位を用いた長さや広さの比較の方法を理解している。 数を数えたり，加法，減法の計算をしたり，任意単位を用いて，ものの長さや広さを比較したりすることができる。	ものの個数を数えるときに，日々変化していく数量に着目し，式や絵グラフを用いて，わかりやすく表す方法を考えている。 基本的な平面図形を並べたり，移動させたり操作しながら，形を構成・分解することを考えている。 これまでに学習してきた数の見方や考え方，計算のしかた，ものの長さや広さについての考え方を整理している。	日々変化する数を整理して表そうとしている。 身の回りの具体物をイメージしながら，形を作ろうとしている。 1年で学習したことに進んで取り組み，学習のまとめをしようとしている。